

議事録

平成 29 年度第 2 回いばらき高齢者プラン 21 推進委員会の開催結果について

日時：H29.9.27（水） 13:30 ～ 15:30

場所：県開発公社ビル 1階 中会議室

長寿福祉課作成

○出席者

・委員：

出席委員：瀧澤 利行委員，山脇 博紀委員，栗盛 須雅子委員，諸岡 信裕委員，森永 和男委員，相川 三保子委員，政安 静子委員，小柳 賢時委員，浅野 有子委員，坂本 達保委員，寺野 紘委員，宇田川 真由美委員，竹内 昌信委員，沼田 正人委員，竹之内 章代委員，佐野 善則委員，三村 真理子委員，丸山 由美子委員，神戸 礼子委員，伊藤 達也委員，日下部 好美委員，宮原 節子委員（出席委員 合計 22 名）

欠席委員：大田 仁史委員，根本 清美委員，斉藤 秀之委員，木村 哲之委員（欠席委員 合計 4 名）

・事務局：木庭保健福祉部長，杉山長寿福祉課長，石塚地域ケア推進室長 外

○議事・進行

13:30～

1 開会

13:31～

2 部長あいさつ（木庭保健福祉部長）

13:33～

委員長あいさつ（諸岡委員長）

13:36～

資料確認

13:37～

委員紹介（本日が初参加の委員 3 名）

事務局異動者報告（石川地域ケア推進室長が政策審議室へ異動し H29.9.26 から石塚室長が着任）

13:38～

諸岡委員長進行

・議事の公開・非公開について諮ったところ，公開で各委員了承。

13:39～

3 議事

(1) 「いばらき高齢者プラン 21 第 7 期」の基本的な考え方（素案）について

・事務局説明 1（杉山長寿福祉課長） 資料 1～2，参考資料 1～3

①第 1 回推進委員会での主な意見と対応について

②「いばらき高齢者プラン 21 第 7 期」の基本的な考え方（素案）について

14:15～

・各委員からの主な意見

○ 「地域共生社会」や「茨城型地域包括ケアシステム」は，素晴らしい理想ではあるが，現在の制度的な限界もあるので，高齢者プランへ記載するときには，丁寧な記載が必要である。

○ 市町村や県の縦割りをなくし，茨城型地域包括ケアシステムを構築してもらいたい。

○ 第 7 期のプランを策定した後の進捗管理や評価の仕方を工夫するのが重要である。

○ 高齢者の介護予防の取組みに加えて，「重度化防止の取組み」もプランに具体的に記載してほしい。

- 高齢者の外出支援，生きがい対策などにも県でも積極的に取り組んでもらいたい。
- 認知症の早期診断・発見のためには，養成した認知症サポート医の活用や地域との連携が大事となる。
また，救急病院への認知症サポート医の設置を進めてほしい。
- 養成した認知症サポーターの活用が必要であり，オレンジカフェへの参加や地域における訪問介護での協力があり得るのではないかと。
- 高齢者虐待の章では，直接的な虐待だけでなく，権利擁護（契約関係など）の視点での記載も加えてもらいたい。
- 「介護職のイメージアップ」はぜひ（案）のとおり記載をして，介護人材の確保に取り組んでほしい。
- 高齢者の貧困対策について，高齢者プランがメインではないかもしれないが，総合的な計画ということなので，高齢者プランにも一言記載をしてもらいたい。

15:25～

(2) その他

- ・ 事務局説明2（杉山長寿福祉課長）
次回日程（H29. 11. 29 予定）及び質問・意見票の提出について依頼

15:30

4 閉会